

特集

みんなが輝くまちに

人権シンポジウムが開催されました

十一月二十五日(日)、県立油木高等学校体育館で「人権シンポジウム」が開催されました。始めに、全国中学生人権作文コンテスト福山地区大会の表彰式が行われ、三和中学校一年の中岡勝也さんと油木中学校二年の江草純子さんが表彰されました。表彰式に続いて行われたパネル討論会では、コーディネーターの元福山人権資料館館長山下真澄さんと油木高校生三名、青年会二名のパネリストが、身の回りにおける人権の問題について来場者と意見を交わしながら、活発な討論を行いました。午後からは、油木高校吹奏楽部の演奏と東京家政大学名誉教授樋口恵子さんの講演会が行われました。講演会では「自分らしく生きる自由が



表彰を受けた江草純子さん(左)と中岡勝也さん(右)



寒い中、商工会青年部の皆さんがうどんをつくってくれました。

ある」という演題で「自分と相手を励ましあい認め合い、お互いの自信の芽を肥やしあう仲間になってほしい」と会場に詰めかけた皆さんに語りかけました。



ヤマボウシとともに 大きくなってほしい

神石高原町人権擁護委員連絡会の皆さんによって、町内11校全ての小中学校へ町木のヤマボウシを届けていただきました。子どもたちとともに大きく育ってくれることを願います。



会場には著名人が人権への思いを綴ったパネルも掲示されました。

